

fi-590PRF インプリンタ

オペレーターガイド

目次

はじめに	1
第 1 章 お使いになる前に	5
1.1 インプリンタ外観	5
第 2 章 基本的な操作方法	6
2.1 プリントカートリッジの取り付け	6
2.2 動作確認	7
2.3 印刷位置の合わせ方	8
2.4 原稿づまり防止ガイドの使い方	9
2.5 印刷設定	9
2.6 プリントカートリッジの交換	10
第 3 章 日常のお手入れ	12
3.1 プリントカートリッジの清掃	12
3.2 インプリンタの清掃	12
第 4 章 エラーメッセージ	14
第 5 章 仕様	15
修理・問い合わせについて	17

お願い

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

© PFU Limited 2007-2017

はじめに

このたびは、fi-590PRF をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

fi-590PRF は、fi-5900C/fi-5950 イメージスキャナで使用するオプションユニットです。

本ガイドは、インプリンタの使い方について説明しております。本書にしたがって正しくご使用ください。

(fi-5900C/fi-5950 本体の使い方については、fi-5900C/fi-5950 に添付されているSETUP DVD-ROM内の『fi-5900C イメージスキャナ オペレーターガイド』または『fi-5950 イメージスキャナ オペレーターガイド』を参照してください。)

消耗品の交換方法など大切な情報が記載されておりますので、大切に保管してください。

本書が fi-590PRF を活用していただくために、皆様のお役に立つことを願っております。

安全にお使いいただくために

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をご使用される前に、本書を熟読してください。特に、本書に記載されている『安全上のご注意』は、必ずお読みいただき、内容をよく理解されたうえで本製品をお使いいただくようお願いいたします。

また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

製造・販売元

株式会社 PFU

〒220-8567

神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5

(横浜アイマークプレイス)

商標および登録商標について

Microsoft、Windows、および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標です。その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

商標の表記について

本書では、次の用語について省略して記述しています。

製品名称	本文中の表記
Windows Server [®] 2008 Standard (32/64 ビット) Windows Server [®] 2008 R2 Standard (64 ビット)	Windows Server 2008 (*1)
Windows [®] 7 Home Premium (32/64 ビット) Windows [®] 7 Professional (32/64 ビット) Windows [®] 7 Enterprise (32/64 ビット) Windows [®] 7 Ultimate (32/64 ビット)	Windows 7 (*1)
Windows Server [®] 2012 Standard (64 ビット)	Windows Server 2012 (*1)
Windows Server [®] 2012 R2 Standard (64 ビット)	Windows Server 2012 R2 (*1)
Windows [®] 8 (32/64 ビット) Windows [®] 8 Pro (32/64 ビット) Windows [®] 8 Enterprise (32/64 ビット)	Windows 8 (*1)
Windows [®] 8.1 (32/64 ビット) Windows [®] 8.1 Pro (32/64 ビット) Windows [®] 8.1 Enterprise (32/64 ビット)	Windows 8.1 (*1)
Windows [®] 10 Home (32/64 ビット) Windows [®] 10 Pro (32/64 ビット) Windows [®] 10 Enterprise (32/64 ビット) Windows [®] 10 Education (32/64 ビット)	Windows 10 (*1)
Windows Server [®] 2016 Standard (64 ビット)	Windows Server 2016 (*1)

*1: すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

使用済製品の廃棄とリサイクルについてのご案内

- 個人でご購入のお客様が本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、地方自治体の条例等に従って適切に処理してください。
- 法人、企業のお客様が本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、産業廃棄物扱いで適切に処理してください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本書、スタートアップガイド、およびオペレーターガイドに従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。

詳細は富士通ホームページ「環境活動」をご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/>

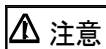
本書で使用している警告表示について

本書では、製品を安全に、かつ正しくお使いいただき、お客様や他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

本書で使用している記号について

本書では、警告表示とは別に、説明中に以下の記号を使用しています。



特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。



操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。



三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵が描かれています。



丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



黒塗りの丸に白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

本書に記載されている画面について

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考にして、実際の画面に従って操作してください。

なお、本書に掲載している画面は、PaperStream IP (TWAIN)ドライバのものであります。

本書では、Windows 7 の画面を例に説明しています。オペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。また、スキャナによっては、PaperStream IP (TWAIN)ドライバをアップデートすると、本書で掲載している画面および操作が異なることがあります。その場合は、アップデート時に提供されるマニュアルを参照してください。

操作パネルの言語表記について

操作パネルの文字には、英語のほかにもフランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、および中国語（簡体字）が用意されていますが、本書では英語表記に準拠しています。

メンテナンスについて

当製品の修理はお客様自身でおこなわないでください。製品をお求めになった販売店、あるいは株式会社 PFU イメージングサービス&サポートセンターに連絡してください。

安全上のご注意



警告



異物(水やコーヒーなどの液体、クリップなどの金属片)がスキャナ内部に入らないように気をつけてください。異物がスキャナ内部に入った場合はただちに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。そのあと、弊社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。特に、小さなお子様のいるご家庭では注意してください。



スキャナを落下させた場合やカバーなどを破損した場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。そのあと、弊社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。



以下のような場合には、ただちに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- スキャナから発煙したり、スキャナの外側が異常に熱くなった場合
- 異常な音がある、異臭がする場合
- スキャナ内部に異物(水、液体、金属片など)が入った場合
- そのほか、故障かな?と思った場合

そのあと、弊社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。



スキャナを分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があり危険です。

また、スキャナをご自身で分解した場合は保証の対象外となり、分解によって発生するいかなる損害に対しても当社では一切責任を負いかねます。



このラベルが貼り付けてある箇所は高温になることがあります。

火傷をするおそれがありますので、十分注意してください。



本スキャナは国内専用です。海外では使用しないでください。

海外で使用すると、火災や感電の原因となります。



電源ケーブルをコンセントに確実に接続してください。火災や故障の原因となります。



表示された電源電圧以外では使用しないでください。また、たこ足配線をしないでください。火災や感電の原因となります。



必ずスキャナに添付の電源ケーブルを使用してください。延長コードは使用しないでください。異常な発熱や火災の原因となります。また、スキャナに添付の電源ケーブルをほかの製品に使用しないでください。感電や故障の原因となります。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置しないでください。火災や感電の原因となることがあります。



以下のような高温、多湿の場所や換気が悪くほこりの多い場所には、スキャナを設置しないでください。高温によってカバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、スキャナ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

通気性、換気性のよい場所で使用してください。

- ストープやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所
- 風呂場、シャワー室、プールなどの水場
- 直射日光の当たる場所、炎天下の車内、暖房機の近くなど、高温になる場所



小さいお子様の手の届くところに設置しないでください。けがの原因となります。



スキャナを移動する場合は、スキャナに接続されているケーブル類をはずし、電源ケーブルをコンセントから抜いたあとに行ってください。

また、作業は足元に十分注意して行ってください。

ケーブルを接続したままスキャナを移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となります。



濡れた手で、電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



破損した電源ケーブルを使用しないでください。また、コンセントの差し込み口がゆるいときも使用しないでください。火災や感電の原因となります。

電源ケーブルを取り扱う際には、以下の点に注意してください。

- 加工しない
- 重いものを載せない
- 引っ張ったり、無理に曲げたりしない

電源ケーブルが破損した場合は、弊社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。



スキャナの上に重いものを置いたり、スキャナの上で作業したりしないでください。故障やけがの原因となります。



スキャナに布団などをかぶせた状態で使用しないでください。熱がこもり、火災の原因となります。



歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないようにしてください。けがの原因となります。



スキャナ底面などの温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。低温やけどの原因となります。



長時間スキャナを使用しないときは、安全のため必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。



清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどがスキャナ内部に侵入し、故障やスキャナの異常の原因となることがあります。また、静電気などによるスパーク(火花)により引火するおそれがあります。



- 1か月に一度は、以下のような点検をしてください。
- 電源ケーブルがコンセントにしっかり差し込まれていますか。
 - 電源ケーブルに、異常な発熱、サビおよび曲がりなどはありませんか。
 - 電源ケーブルに細かいほこりがついていませんか。ほこりが付着している場合は、柔らかい乾いた布でよく拭いてください。
 - 電源ケーブルに、き裂や擦り傷などはありませんか。

異常がある場合は、販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。



必ずアースを接続してください。感電のおそれがあります。
アース接続は、必ず電源ケーブルをコンセントに接続する前に行ってください。アース接続をはずすときには、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。

注意



スキャナのどの部分も机から突き出さないように設置してください。
また、スキャナが傾かないように、振動の少ない、平らな場所に置いてください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。
また、静電気を避け、床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。
静電気によって、スキャナが誤動作することがあります。



近くで雷が起きたときは、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
そのままにしておくとスキャナを破壊し、お客様の財産に被害をおよぼす原因となります。



複写機やシュレッターのような消費電力の大きい機器と同じコンセントから電源をとらないでください。



通気孔をふさがないでください。通気孔をふさぐとスキャナ内部が高温になるため、火災や故障の原因となります。



寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、スキャナが結露することがあります。
そのまま使用すると、読み取り不良の原因となりますので、暖かい部屋に1~2時間放置して、内部が乾いてから使用してください。



紙を取り扱う際には、紙の縁で手を切るなどのけがをしないように注意してください。



雨天や降雪時に屋外へ持ち出す場合は、濡らさないように注意してください。
万が一スキャナが濡れた場合は、拭き取るか時間を置いて乾いてから使用してください。

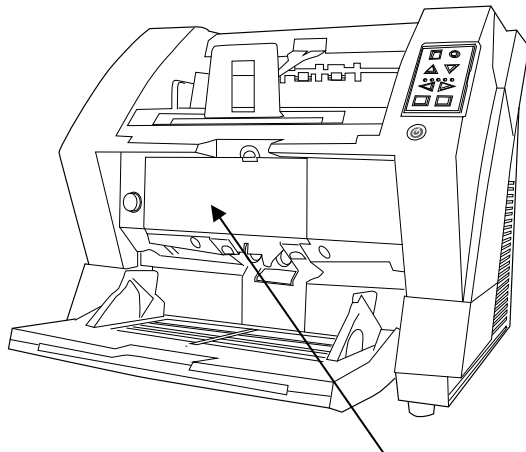


スキャナを運ぶ場合は、必ず二人以上で運ぶようにしてください。

第1章 お使いになる前に

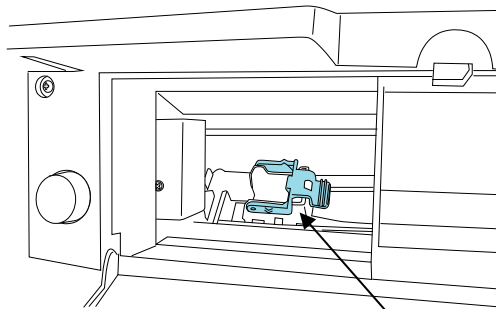
1.1 インプリンタ外観

スキャナ (fi-5900C/fi-5950) のインプリンタカバーを開くと、内部にインプリンタ (fi-590PRF) が搭載されています。

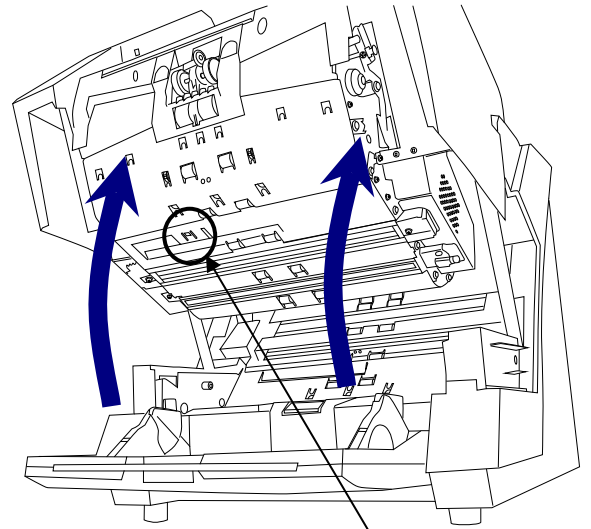


インプリンタカバー

<インプリンタカバー内部>



プリントカートリッジホルダー



インプリンタヘッド

第 2 章 基本的な操作方法

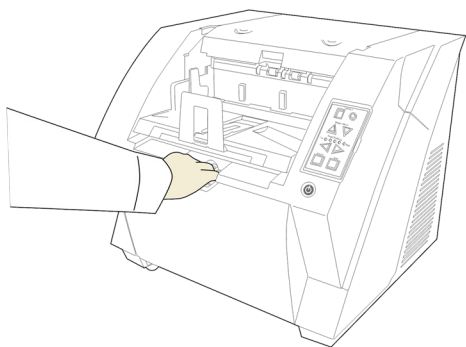
2.1 プリントカートリッジの取り付け

以下の手順でプリントカートリッジを取り付けます。

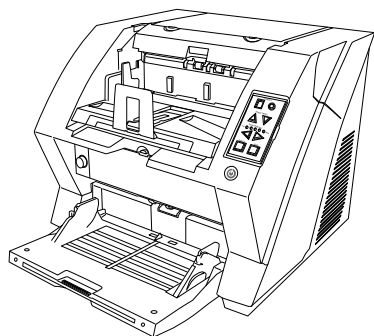
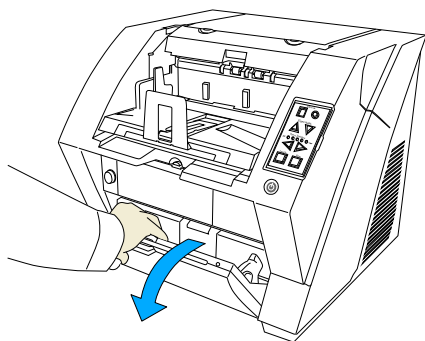


プリントカートリッジの取り付け時は、プリントカートリッジの誤挿入に注意してください。

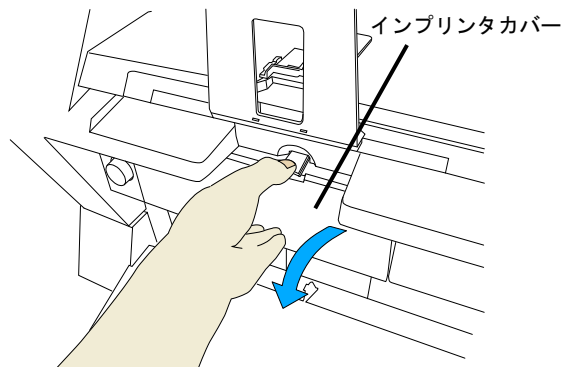
1. スキャナの電源が切れていることを確認します。
2. ホッパー上部中央のくぼみをつかみます。



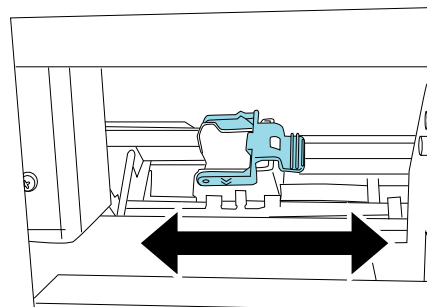
3. 手前に引いて下ろします。



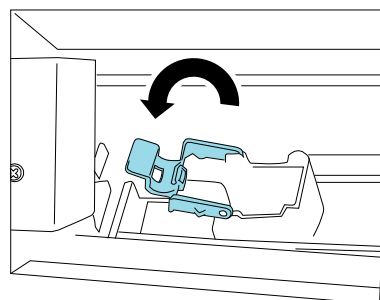
4. インプリンタカバーを開きます。



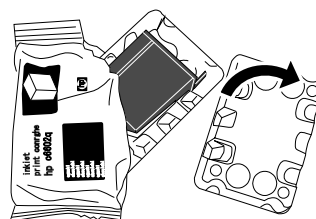
5. プリントカートリッジホルダーを、プリントカートリッジが装着しやすい位置まで移動します。



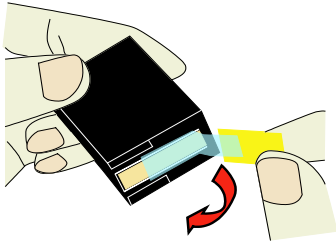
6. 水色のレバーを左方向に回転させて開きます。



7. 袋からプリントカートリッジを取り出します。

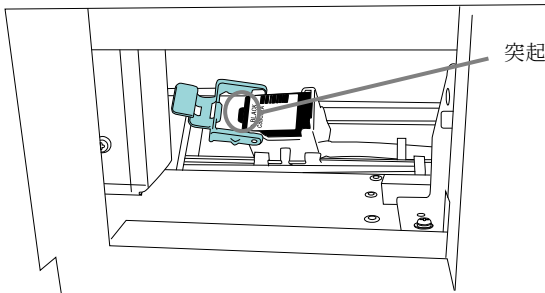


8. プリントカートリッジの保護テープをはがします。

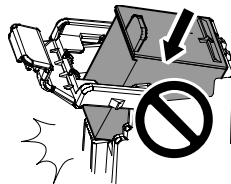


金属部分に触れたり、テープを貼り直したりしないでください。

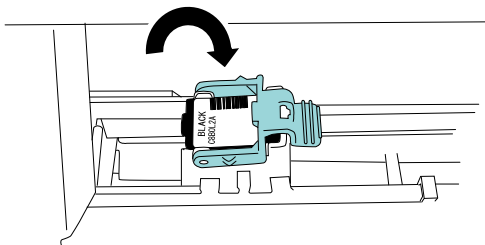
9. レバーが閉じていたら、レバーを左方向に回転させて開いてから、プリントカートリッジを挿入します。



- プリントカートリッジは、突起のある方を左側にして取り付けてください。
- プリントカートリッジを傾けると、うまく入りませんので、注意してください。



10. プリントカートリッジの上にレバーを右方向に回転させて固定します。



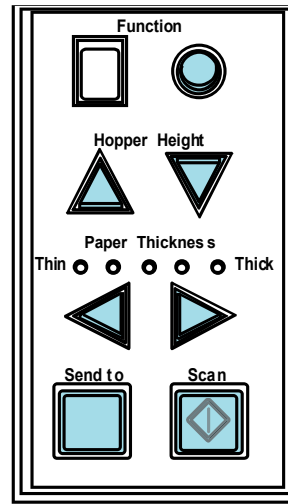
11. インプリンタカバーを閉じます。

2.2 動作確認

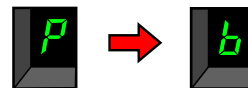
プリントカートリッジの取り付けが終了したら、スキヤナのオフライン印字テストモードで文字の印刷が出来ることを確認してください。

1. スキヤナ操作パネル上の[Hopper Height]ボタン(△または▽)を押しながら、電源を入れます。

[Hopper Height] ボタンは押したままにします。



2. ファンクションナンバーディスプレイが[P]から[b]に変化したら、[Hopper Height]ボタンを離します。



3. ホッパーに白紙をセットします。



- A4または、レターサイズ以上の紙をご使用ください。長さが短い場合は、途中までしか印字されないことがあります。
- プリントカートリッジの位置が紙幅内にあることを確認してください。詳細は、「2.3 印刷位置の合わせ方」を参照してください。

4. [Scan]ボタンを押します。

⇒ 紙が搬送され、先端 5mm から印字されます。(誤差±4mm)



印字されるテストパターンには以下のものがあります。

テストパターン1(横書き):
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`00000000

テストパターン2(横書き):
 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~ 00000000

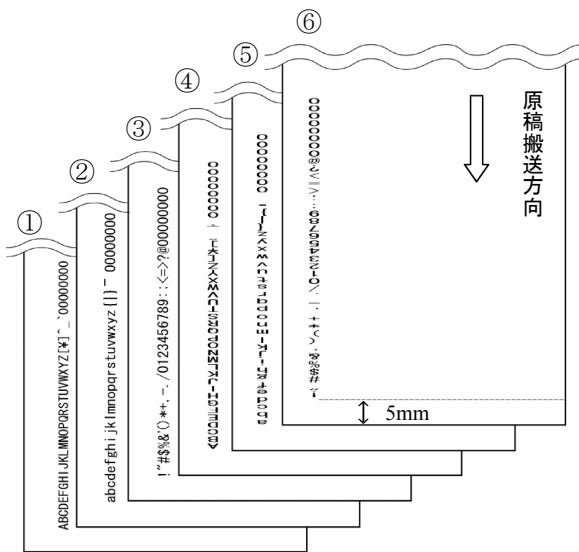
テストパターン3(横書き):
 !"#%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@00000000

テストパターン4(縦書き):
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`00000000

テストパターン5(縦書き):
 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~ 00000000

テストパターン6(縦書き):
 !"#%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@00000000

紙を複数枚セットした場合、テストパターン1~6が、順番に繰り返し印刷されます。また、“00000000”の部分は、0から始まり、1刻みでカウントされます。(1パターン印刷するごとに、動作が停止しますので、印字を継続する場合は、[Scan]ボタンを押してください。)



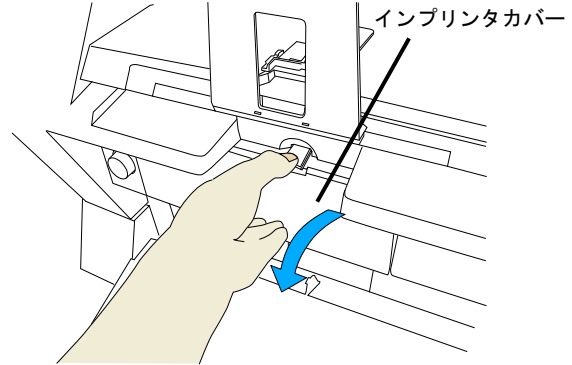
テストパターン印字サンプル

5. オフライン印字テストモードを終了する場合は、電源スイッチでスキャナの電源を切ります。

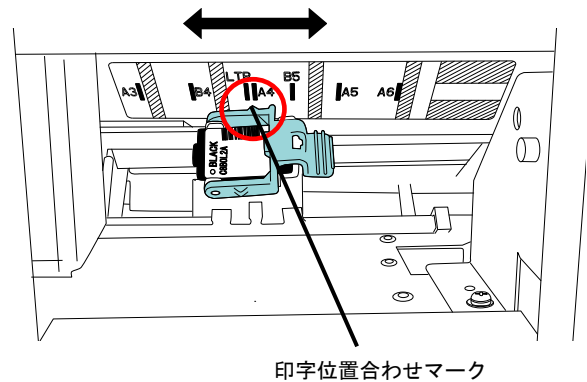
2.3 印刷位置の合わせ方

以下のように印刷位置の設定を行います。

1. インプリンタカバーを開きます。



2. 印字位置あわせマークの矢印の先端を、印刷したい位置にあわせます。

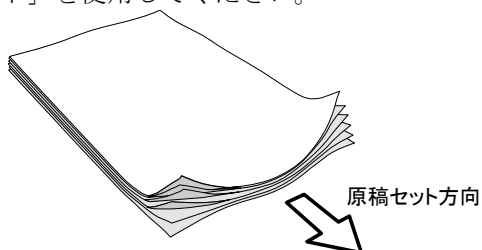


- プリントカートリッジホルダー上の「▲」マークの位置に印字ヘッドがあります。印字位置の目安にしてください。
- プリントカートリッジ上方に、原稿サイズの見盛りが刻まれています。原稿幅の目安にしてください。
- 印字禁止領域(蛍光の黄色の斜線部分)にプリントカートリッジをセットしないでください。インク汚れが発生する場合があります。
- 実際に読み取る原稿をホッパーにセットして、プリントカートリッジの位置が紙幅内にあることを確認してください。

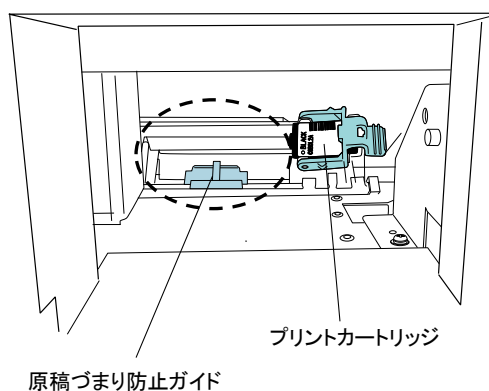
3. インプリンタカバーを閉じます。

2.4 原稿づまり防止ガイドの使い方

以下のように、先端がカールした原稿を使用する場合は、原稿づまりを防止するために、「原稿詰まり防止ガイド」を使用してください。

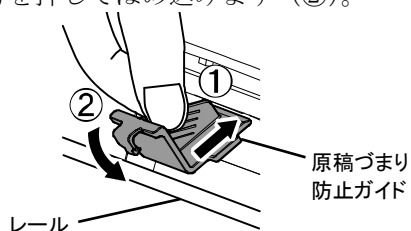


図のように、プリントカートリッジを右の方に設定して、左側に空きができたときに、原稿詰まり防止ガイドを配置します。



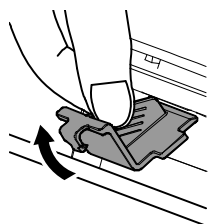
<原稿づまり防止ガイドの取り付け方>

図のように原稿づまり防止ガイドを乗せて (①)、頭の部分を押しはめ込みます (②)。



<原稿づまり防止ガイドの外し方>

以下のように、指でつまみ、頭の部分を手前に引っ張って取り外します。



2.5 印刷設定

インプリンタの印刷設定は、スキャナドライバの設定画面上でおこないます。

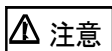


スキャナドライバの呼び出し方は、アプリケーションによって異なります。詳細は、ご使用のアプリケーションのマニュアルまたはヘルプを参照してください。



- 以下のような設定が可能です。
 - 読み取り開始位置
 - フォントの向き(縦・横)／幅(標準・太字・細幅字)
 - 印刷文字列指定(最大 43 文字)
 - カウンタ出力指定(桁、加算/減算、ステップ)
- 詳細は、スキャナドライバのヘルプを参照してください。

2.6 プリントカートリッジの交換

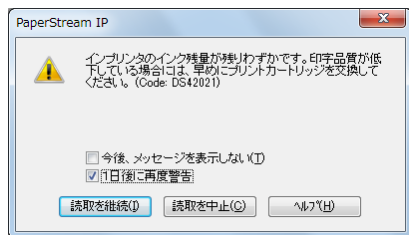


必ず電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。電源を入れたまま交換すると、感電や装置の故障の原因となります。

以下の手順でプリントカートリッジを交換します。



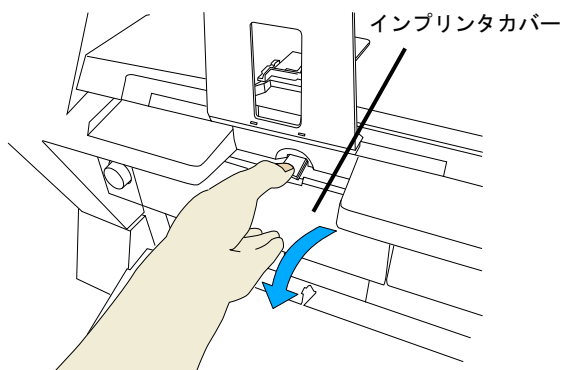
- 以下の画面が表示されたら、すみやかにプリントカートリッジを交換してください。



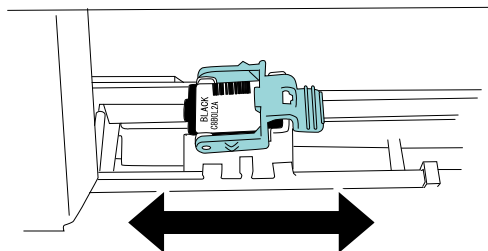
そのまま使い続けると、印字かすれが発生する場合があります。

- プリントカートリッジの交換時は、プリントカートリッジの誤挿入に注意してください。

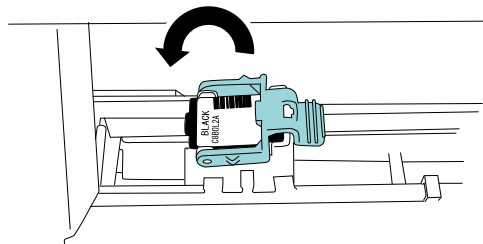
1. スキャナの電源が切れていることを確認します。
2. インプリンタカバーを開きます。



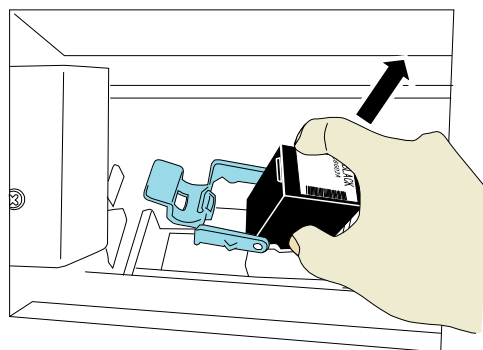
3. プリントカートリッジホルダーを、プリントカートリッジが取り出しやすい位置まで移動します。



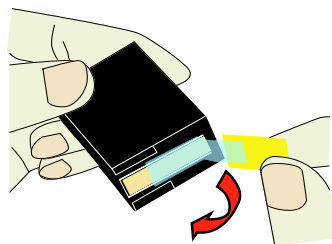
4. 水色のレバーを左方向に回転させて開きます。



5. プリントカートリッジを取り外します。

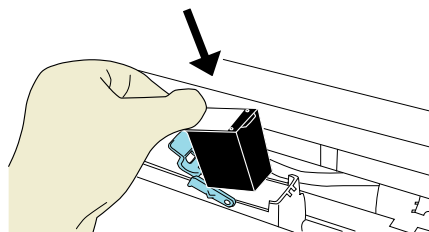


6. 新しいプリントカートリッジの保護テープをはがします。



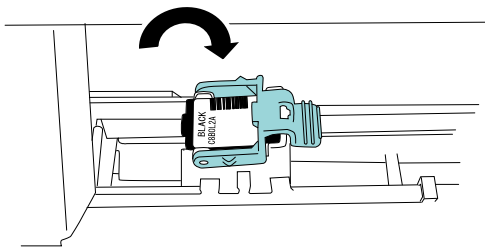
金属部分に触れたり、テープを貼り直したりしないでください。

7. 新しいプリントカートリッジを挿入します。



- プリントカートリッジは、突起のある方を左側にして取り付けてください。
- プリントカートリッジを配線フィルムに引っ掛けて、配線フィルムを破損しないように注意してください。

8. プリントカートリッジの上にレバーを右方向に回転させて固定します。



9. インプリンタカバーを閉じます。
10. 以下の方法で、インク残量カウンタをクリアします。



プリントカートリッジ交換後は、必ずインク残量カウンタをクリアしてください。

- ① 「Software Operation Panel」画面を表示します。

Windows Server 2008/Windows 7 以前

「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「fi Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。

Windows Server 2012/Windows 8

スタート画面を右クリックし、アプリバーの「すべてのアプリ」→「fi Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。

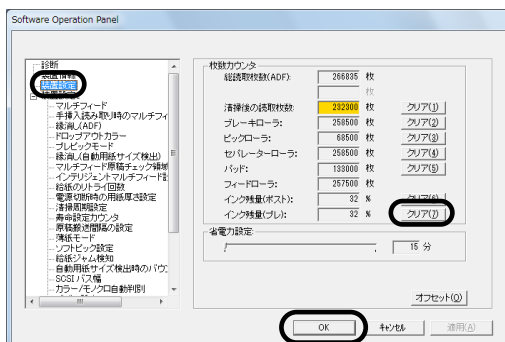
Windows Server 2012 R2/Windows 8.1

スタート画面左下にある「↓」→「fi Series」の「Software Operation Panel」をクリックします。「↓」はマウスを動かさずに表示されます。

Windows 10/Windows Server 2016

「スタート」メニュー→「fi Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。

- ② 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



「Software Operation Panel」にパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して閲覧モードを解除する必要があります。(fi-5950 のみ)

- ③ 「インク残量(プレ):」の[クリア]ボタンをクリックします。
⇒ インク残量カウンタがクリア(→100%)されます。

- ④ 「Software Operation Panel」画面の[OK]ボタンをクリックします。

第3章 日常のお手入れ

3.1 プリントカートリッジの清掃

プリントカートリッジのノズルプレート面にインクなどの汚れが付着したり、しばらく使用せず放置した場合、目づまりなどにより文字が乱れる場合があります。このような状態になった場合、プリントカートリッジのノズルプレート面を清掃してください。

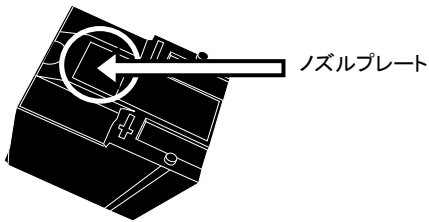


清掃には、埃の出にくい、乾いた布またはウェス(ティッシュペーパーは不向きです)を使用し、ノズルプレート面の汚れなどを優しく拭き取るようにしてください。



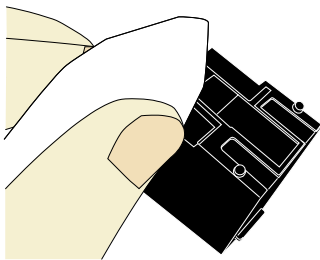
プリントカートリッジを清掃しても目づまりが解消できない場合は、新しいプリントカートリッジに交換してください。

1. スキャナの電源を切ります。
2. プリントカートリッジを取り外します。
(「2.6 プリントカートリッジの交換」を参照)



接点部分およびノズルプレートに直接手で触れないように注意してください。印字不良や接点不良の原因になります。

3. ノズルプレート面の汚れなどを優しく拭き取ります。



4. 汚れなどが拭き取られたことを確認し、プリントカートリッジを取り付けます。

(「2.6 プリントカートリッジの交換」を参照)

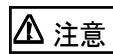


プリントカートリッジの取り付け時は、プリントカートリッジの誤挿入に注意してください。

3.2 インプリンタの清掃

fi-590PRF は、読み取り前に表面の印字を行うため、インクがプリントカートリッジホルダー周辺部、および上側搬送部の読み取りガラス面や搬送路に付くことがあります。原稿や読み取り画像の汚れの原因となるため、5,000 枚を目安に清掃してください。ただし、この目安は読み取る原稿の種類によって異なります。

インクが乾きにくい原稿を使用する場合は、5,000 枚より少ない枚数での清掃が必要になることがあります。



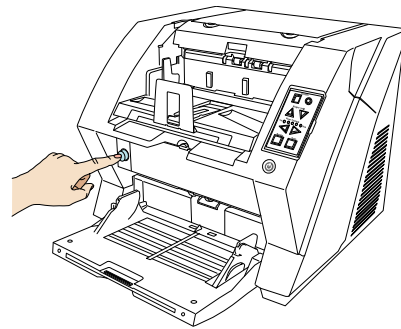
注意

本装置を清掃する場合は必ず電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。電源を入れたまま清掃すると、感電や装置の故障の原因となります。

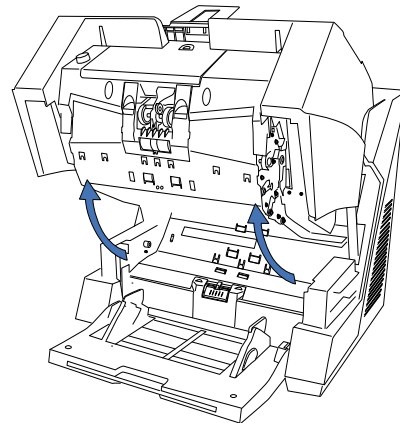


清掃には、埃の出にくい、乾いた布またはウェス(ティッシュペーパーは不向きです)を使用し、優しく拭き取るようにしてください。

1. スキャナの電源を切ります。
2. プリントカートリッジを取り外します。
(「2.6 プリントカートリッジの交換」を参照)
3. ADF カバーオープンボタンを押します。



⇒ ADF カバーがゆっくりと開きます。



4. クリーナF1を浸した布で、以下の部分をやさしく拭き取ります。

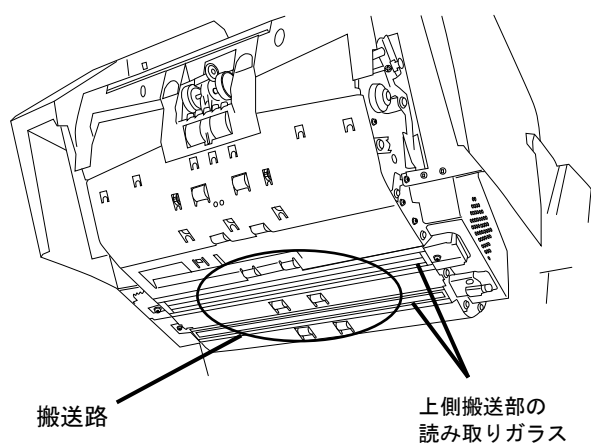


詳細は『fi-5900C イメージスキャナオペレーターガイド』または『fi-5950 イメージスキャナ オペレーターガイド』を参照してください。

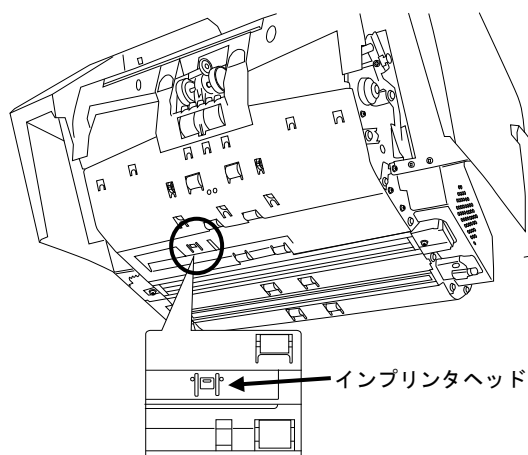


大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

・上側搬送部の読み取りガラスおよび搬送路

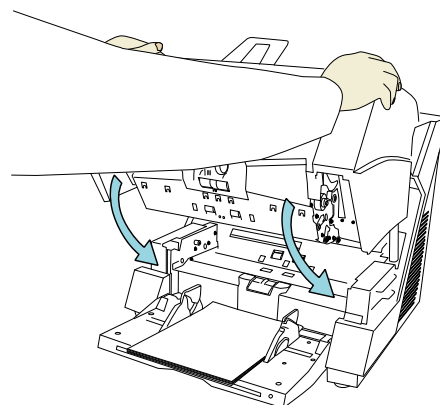


・プリントカートリッジ底面

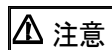


5. プリントカートリッジを取り付けます。

6. ADF カバーを両手で持ち、ゆっくりと下に押し下げます。



7. ADF カバーが固定されるまでしっかりと押し込んでください。



- 閉じるときは、異物が ADF 内にはさまれていないことを確認してください。
- 指をはさまないように注意してください。

第4章 エラーメッセージ

ファンクションナンバーディスプレイが以下のように表示される場合は、インプリンタに異常が発生しています。



内容 : インプリンタまたは ADF のカバーが開いています。

対処方法 : インプリンタまたは ADF のカバーを閉じてください。



内容 : プリントカートリッジがセットされていません。

対処方法 : インプリンタカバーを開けて、プリントカートリッジが正しく装着されているかどうか確認してください。

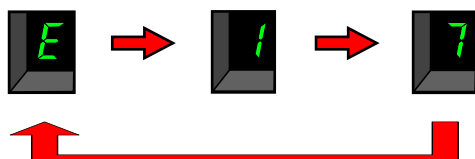


内容 : インプリンタに異常が発生しました。

対処方法 : ①インプリンタカバーを開けて、プリントカートリッジが正しく装着されているかどうか確認してください。

②一度スキヤナの電源を切ってから、再び電源を入れてください。

(症状が改善されない場合は、ご購入の販売店、または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターにご連絡ください。)




内容 : インプリンタのヒューズが切れました。

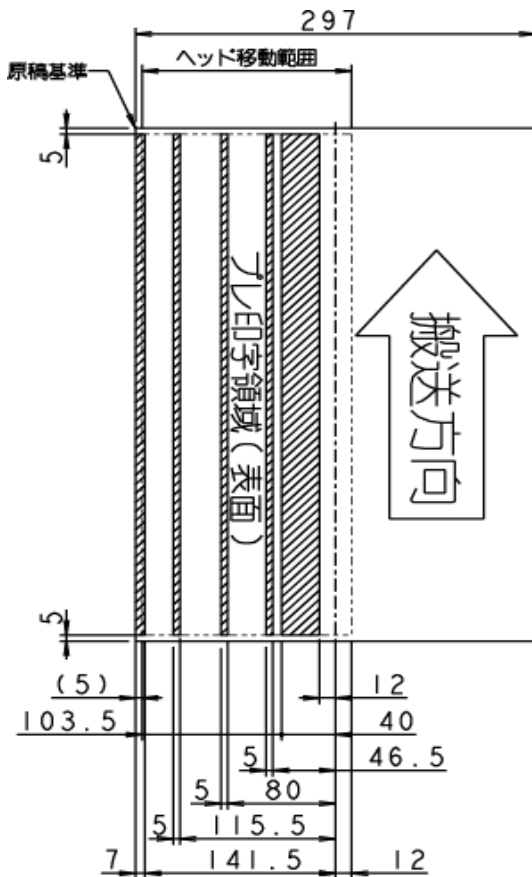
対処方法 : ご購入の販売店、または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターにご連絡ください。



その他のエラーについては、fi-5900C/fi-5950 に添付されている SETUP DVD-ROM 内の『fi-5900C イメージスキヤナ オペレーターガイド』または『fi-5950 イメージスキヤナ オペレーターガイド』を参照してください。

第5章 仕様

項目	説明			
印字方式	サーマル・インクジェット			
印字タイプ	プレインプリンタ（読み取り前に印字） 表面印字			
印字文字	アルファベット : A~Z, a~z 数 字 : 0, 1~9 記 号 : ! " \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ { } ~			
最大印字文字数	43 桁			
印刷方向	標準、太字 : 0° , 180° (横書き), 90° , 270° (縦書き) 細幅字 : 0° , 180° (横書き)			
文字サイズ	標準、太字 : 縦 2.91mm×横 3.03mm (横書き), 縦 3.03mm×横 2.91mm (縦書き) 細幅字 : 縦 2.91mm×横 1.71mm (横書き)			
文字ピッチ	3.79mm (標準、太字) 2.46mm (細幅字)			
フォントスタイル	標準、太字			
文字幅	標準、太字、細幅字			
	文字幅	印刷方向	フォントスタイル	印字可否
	標準	横書き	標準	○
			太字	○
		縦書き	標準	○
			太字	○
	細幅字	横書き	標準	○
			太字	×
		縦書き	標準	×
太字			×	
使用可能な原稿	fi-5900C/fi-5950 で使用可能な原稿 詳細は『fi-5900C イメージスキャナ オペレーターガイド』または『fi-5950 イメージスキャナ オペレーターガイド』の「第7章 原稿について」を参照してください。			
	 感熱紙、熱転写用紙、コート紙、アート紙など、表面に光沢のある原稿はインクの乾きが悪く、印字が不良になる場合があります。また、清掃周期も短くなります。			

項 目	説 明
印字領域	 <p>単位: mm</p> <p>※斜線部 印字はできませんが、インクが転写するため、保証範囲外です。</p>
印字位置精度	垂直方向：±4mm（開始位置）、水平方向：±4mm（開始位置）
動作環境	温度：15～35℃、湿度：20～80%
消耗品	プリントカートリッジ（型名：FI-C200PC）（18 ページ「消耗品の購入先」参照） 印字可能文字数：4,000,000 文字 （ただし、フォントの指定に依存して減少する場合があります。） 交換周期（目安）：4,000,000 文字または開封後半年

※保守サポート期間は、お客様の購入後 5 年間です。
 本装置の修理部品の最低供給期間は、製造中止後 5 年間です。

修理・問い合わせについて

当社では、お客様に安心してイメージスキャナ fi シリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入頂く契約サービスと、必要な時にその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

■契約サービス

契約サービスには、以下の2種類のサービスメニューがあります。

◆定額訪問修理サービス

機器の故障発生には、直ちにサービスマンが伺い、迅速で確実な修理作業をおこないます。
メーカー直接保守による高度な技術と迅速な保守対応をおこないます。
全国サービスネットによる迅速な保守対応をおこないます。

◆定額定期保守サービス

お客様に安心して機器を使用して頂くために、年一回サービスマンが点検作業に伺います。
機器の故障発生時は上記と同等なサービス対応をおこないます。
機器点検により品質の維持と障害を未然に防止します。

オプション装着時は、スキャナ本体価格と搭載オプション製品の合計金額となります。
消耗品はお客様の費用負担となります。

■スポットサービス

スポットサービスには、以下の2種類のサービスがあります。

◆センドバック修理サービス

修理窓口まで機器を持ち込んで頂き修理をおこないます。

センドバック修理サービス	持込基本料+ 部品費 * 送料：発送元負担
引き取り修理サービス（付加）	指定日に修理機を引き取ります。
代替機サービス（付加）*1, *2	修理中に代替機を貸出します。 （引き取り修理サービスと併用）

*1 代替機については、同一機種ではなく、同等機能をもつ機種になることがあります。

*2 代替機サービスは、引き取りサービスとの併用でのみご利用できます。代替機サービスのみのご利用はできません。
ご了承下さい。

キャンセル料	持ち込み診断後、お客様のご都合により修理をキャンセルする場合などにかかります。
--------	---

■オンサイト修理サービス

機器の故障発生時にご連絡頂き、その後、サービスマンが直接修理に伺います。

オンサイト修理サービス	訪問基本料金（作業時間＝1時間まで）＋ 部品費＋ オプション料金＋ 加算料金（技術料金、その他加算料金）
-------------	--

スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ	
受付窓口	株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	050-3786-0811 <ul style="list-style-type: none"> ● 上記の電話番号は、050 IP 電話サービスを利用しております。050 IP 電話については弊社のサポートホームページをご覧ください。 上記の電話番号がご利用いただけない場合は、NTT 東日本または NTT 西日本の一般加入電話からおかけいただくか、045-523-1995 にお問い合わせください。 ● 電話番号をお間違えにならないようお願いいたします。 ● トーン信号が出ない電話機でおかけの場合は、そのまましばらくお待ちください。オペレーターが応答します。 <p>お問い合わせの内容・発信者番号は、対応状況の確認と対応品質向上のため、録音・記録をさせていただいております。</p>
受付時間	9：00～17：00 （土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く）
ホームページ	http://imagescanner.fujitsu.com/jp/

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。
 詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

■消耗品の購入先

プリントカートリッジなどの消耗品のご購入については、本装置を購入された販社/販売店、または当社 PFU ダイレクトにお問い合わせください。

株式会社PFU PFU ダイレクト
 お問い合わせ先
 E-mail： shop@pfu.fujitsu.com
 電話：0120-14-4541

お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。

ホームページ：<http://www.pfu.fujitsu.com/direct/>
 受付時間：9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く）